

カーフィルムの貼り方/全種共通

※**ご使用前にパッケージ記載のすべての文をよくお読みください。**

ご使用前にご確認ください。

●本製品は車専用です。●車の窓ガラスサイズを確認の上、お買い求めください。●本製品装着により、GPS信号・レーダー波・各種電波の感度が低下したり、受信できなくなる場合があります。●フィルムを貼ると、視認性が低下します。特に夜間・降雨時は安全運転に十分注意してください。●ガラスのドット部分(黒い部分)には本製品は貼り付けられません。

警告 この警告文を必ずお読みください。

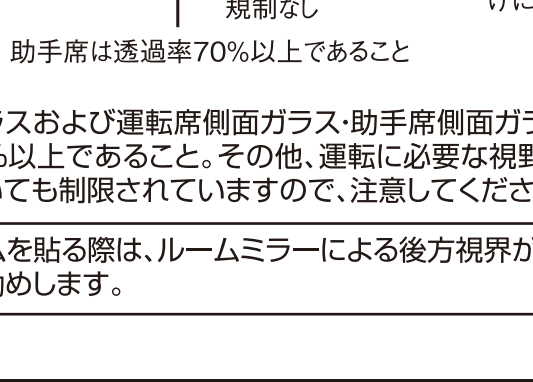
●本製品を保安基準で適合したガラス(上記参照)以外には絶対に貼らないでください。

注意 この注意文を必ずお読みください。

●ガラス以外のものへは貼り付けしないでください。●車検や取り締まりの対象となる場合があります。その際は、本製品を取りはずしてください。当社はその責任を一切負いかねます。●フィルムに多少の色ムラがある場合があります。●使用状況や経年変化により、フィルムに変色・劣化等が生じます。●フィルムは消耗品です。目安として1年前後で貼り直しが必要になります。●施工時・施工後のフィルム表面のすり傷に関して、当社は一切の責任を負いかねます。●本製品の使用・貼り付けや、分解・改造・加工等によって生じた事故や、車両および本製品の破損・故障・損害について、当社は一切の責任を負いかねます。●貼り付け作業は自己責任で行なってください。

【保安基準】カーフィルムは正しい貼り方をしてください。

2017年12月調べ



自動車のフロントガラスおよび運転席側面ガラス・助手席側面ガラスはガラスを含めて可視光線透過率が70%以上であること。その他、運転に必要な視野を妨げるおそれのある箇所に貼ることについても制限されています。また、運転に必要な視野を妨げるおそれのある箇所に貼ることについても制限されています。また、運転に必要な視野を妨げるおそれのある箇所に貼ることについても制限されています。

リアガラスにフィルムを貼る際は、ルームミラーによる後方視界が確保できることを確認の上、貼ることをお勧めします。

フィルムの貼り方

●10℃以下の低温、または40℃以上の高温な環境下を避け、風がなく、ホコリの立たない日を選んで作業してください。●作業時、内装(座席・ダッシュボード・ミラー等)にスプレー液等がかかると、シミになる場合があります。必ずビニールシート等で保護してください。

必要な道具 別途ご用意ください。

※必要な道具の使用方法や注意事項を必ず確認して使用してください。カッターナイフ・スプレー容器または霧吹き・ハサミ・定規・ダマートまたは細マジック・バケツ・セロハンテープ・スプレー液(水500mlに対して中性洗剤1滴を混ぜたもの)・タオル・スキージ・針 ※スプレー液は、バケツ等に前もって用意しておくくと便利です。

貼り付け時の注意事項

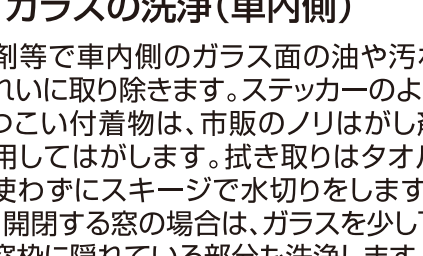
●ガラス上でカッター等刃物物が絶対に使用しないでください。●スプレー液には、必ず中性洗剤を使用してください。また、洗剤が濃すぎる場合や種類により、フィルムのノリの効力が低下し、はがれの原因となったり、フィルムが色落ちする場合があります。●水抜き作業の際、スキージでフィルム表面を強くこすり過ぎないでください。●フィルム貼り付け後、安定するまで(約24時間)は窓を開閉しないでください。

50cm/60cm幅の貼り付け例

1 フィルムの表裏を確認

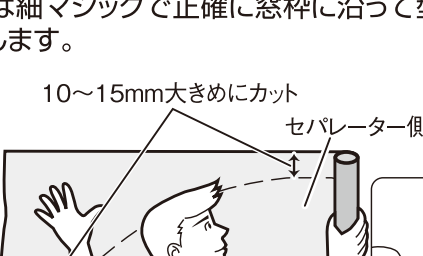
お買い上げ時は、セパレーター側が表になるように巻かれ、テープで留められています。フィルムの隅の表と裏の両面にセロハンテープを互いにくっつかないように貼り、そのままセロハンテープを外側に向かって引っ張るとフィルムとセパレーターが簡単にはがれます。セパレーター側がフィルム接着面です。この時一度にはがさず少しだけにしておき、セパレーター側(透明な方)にダマート等で印を付けておきます。

注意 表裏を間違えますと、左右が逆になりますので注意してください。



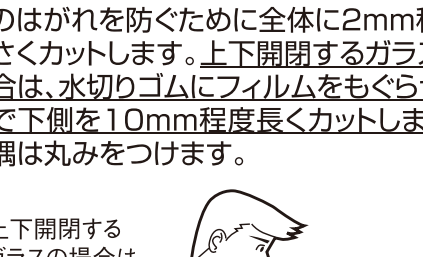
2 ガラスの洗浄(車内側)

洗剤等で車内側のガラス面の油や汚れをきれいに取り除きます。ステッカーのようになつこい付着物は、市販のノリはがし剤を使用してはがします。拭き取りはタオル等を使わずにスキージで水切りをします。また、開閉する窓の場合は、ガラスを少し下げて窓枠に隠れている部分も洗浄します。



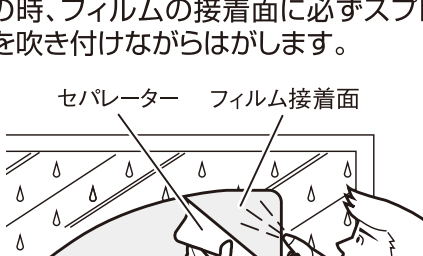
3 窓枠の型取り

車外側のガラスにセパレーター側を表(自分側)にして置き、ガラスより10~15mm程度大きめにカットします。2箇所以上の窓に貼る場合は、その都度このようにセパレーター側にダマート等で印を付けます。車外側のガラスに散水し、先程カットしたフィルムを置いてフィルムがずれないようにセロハンテープ等で仮止めし、ダマートまたは細マジックで正確に窓枠に沿って型取りします。



4 フィルムの裁断

型取りが済んだらフィルムをガラスからはずし、カットラインに沿ってカッターナイフかハサミでフィルムを裁断します。フィルムのはがれを防ぐために全体に2mm程度小さくカットします。上下開閉するガラスの場合は、水切りゴムにフィルムをもぐらせるので下側を10mm程度長くカットします。四隅は丸みをつけます。



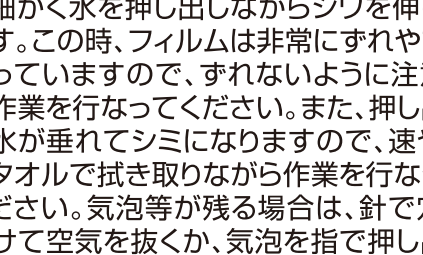
5 セパレーターをはがす

フィルムからセパレーターをはがします(二人で行なうとやりやすいです)。一人で行なう場合は、車のボディまたは、建物の窓ガラスにスプレー液を吹き付けてから、フィルム表面を密着させてセパレーターを引っ張ると簡単にはがすことができます。この時、フィルムの接着面に必ずスプレー液を吹き付けなければなりません。



6 フィルムの位置決め

車内側のガラス面にたつぷりスプレー液を散水してからフィルムの接着面をガラスに貼り付けて位置を決めます。この時、フィルム表面にもたつぷりとスプレー液を吹き付けます。上下開閉するガラスの場合は、スキージを使ってフィルムを水切りゴムの下に差し込みます。



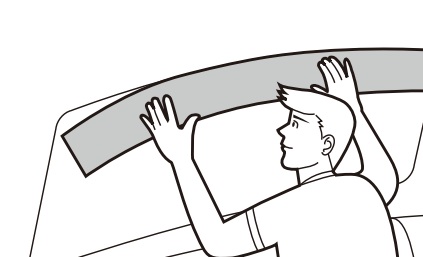
7 水抜き・空気抜き作業

貼り付けたフィルムの表面にスプレー液を吹き付け、スキージとタオルを使用してガラスの中心から外側に向かって上下・左右に細かく水を押し出しながらシワを伸ばします。この時、フィルムは非常にずれやすくなっていますので、ずれないように注意して作業を行ってください。また、押し出した水が垂れてシミになりますので、速やかにタオルで拭き取りながら作業を行ってください。気泡等が残る場合は、針で穴を開けて空気を抜くか、気泡を指で押し出してください。



8 リアウインドーにフィルムを貼る

①リアウインドーにフィルムを貼る場合は、ガラス面がカーブしているため1枚では貼れません。フィルムを横に4~5枚に分けて熱線のライン上で重なるように貼るのがポイントです。
※外側(車外)から型取りをし、内側(車内)からフィルムを貼ります。
※リア専用フィルム(20cm×6m)をご使用になると作業が楽になります。②サイドウインドーと同じ要領で型取り・裁断を行ない、フィルムにたつぷりとスプレー液を吹き付けて、上から1枚ずつ貼ってください。水抜き作業は、1枚貼るごとにしっかりと行ないます。③2枚目からはリアウインドーの中央部分で1mm程度重なり、両サイド部分では2~3mm程度重なるように貼ります。



9 最終チェック

フィルムの隅々まできちんと貼れているか、よく確認してください。わずかも「めくれ」や「気泡」があると仕上がりに影響します。最後にフィルム表面の水分をきれいに拭き取ります。

注意

ご使用前に必ずお読みください。

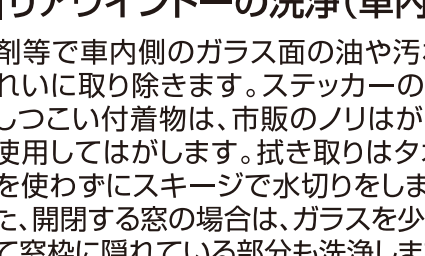
●施工後、運転操作に支障が出た場合はただちにはがしてください。●ガラスの洗浄後、水抜きが不十分な場合フィルムが変色することがあります。●フィルムのノリが窓に残る場合があります。この場合は市販のノリはがし剤等を使用して拭き取ってください。●不要になったフィルムは各自自治体の区分に従って処分してください。

20cm幅(リア用)の貼り付け例

1 フィルムの表裏を確認

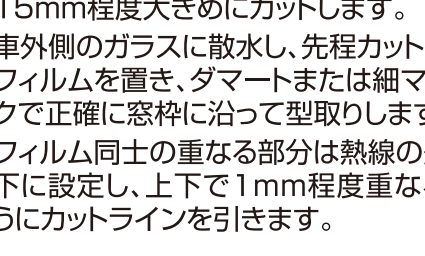
お買い上げ時は、セパレーター側が表になるように巻かれ、テープで留められています。フィルムの隅の表と裏の両面にセロハンテープを互いにくっつかないように貼り、そのままセロハンテープを外側に向かって引っ張るとフィルムとセパレーターが簡単にはがれます。セパレーター側がフィルム接着面です。この時一度にはがさず少しだけにしておき、セパレーター側(透明な方)にダマート等で印を付けておきます。

注意 表裏を間違えますと、左右が逆になりますので注意してください。



2 リアウインドーの洗浄(車内側)

洗剤等で車内側のガラス面の油や汚れをきれいに取り除きます。ステッカーのようになつこい付着物は、市販のノリはがし剤を使用してはがします。拭き取りはタオル等を使わずにスキージで水切りをします。また、開閉する窓の場合は、ガラスを少し下げて窓枠に隠れている部分も洗浄します。



3 窓枠の型取り

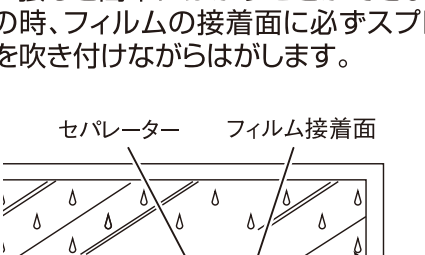
本製品は、1枚では貼りにくいリアウインドーにあらかじめ分割して貼れるようにカットされています。フィルムを横に上部から順に熱線の少し下で上下1mm程度重なるように正確に型取りします。

①車外側のガラスにセパレーター側を表(自分側)にして置き、ガラスより10~15mm程度大きめにカットします。
②車外側のガラスに散水し、先程カットしたフィルムを置き、ダマートまたは細マジックで正確に窓枠に沿って型取りします。
※フィルム同士の重なる部分は熱線の少し下に設定し、上下で1mm程度重なるようにカットラインを引きます。



4 フィルムの裁断

型取りが済んだらフィルムをガラスからはずし、カットラインに沿ってカッターナイフかハサミでフィルムを裁断します。フィルムのはがれを防ぐために全体に2mm程度小さくカットします。上下開閉するガラスの場合は、水切りゴムにフィルムをもぐらせるので下側を10mm程度長くカットします。四隅は丸みをつけます。



5 セパレーターをはがす

フィルムからセパレーターをはがします(二人で行なうとやりやすいです)。一人で行なう場合は、車のボディまたは、建物の窓ガラスにスプレー液を吹き付けてから、フィルム表面を密着させてセパレーターを引っ張ると簡単にはがすことができます。この時、フィルムの接着面に必ずスプレー液を吹き付けなければなりません。



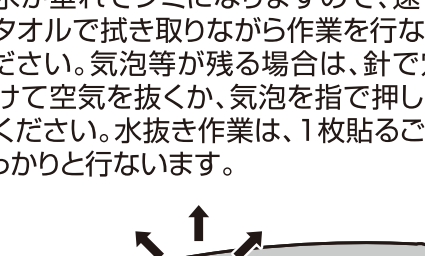
6 フィルムの位置決め

車内側のガラス面にたつぷりスプレー液を散水してからフィルムの接着面をガラスに貼り付けて位置を決めます。この時、フィルム表面にもたつぷりとスプレー液を吹き付けて、上から1枚ずつ貼ります。
●2枚目からはリアウインドー中央部分で1mm程度重なり、両サイド部分では2~3mm程度重なるように貼ります。
●上下開閉するガラスの場合は、スキージを使ってフィルムを水切りゴムの下に差し込みます。



7 水抜き・空気抜き作業

貼り付けたフィルムの表面にスプレー液を吹き付け、スキージとタオルを使用してガラスの中心から外側に向かって上下・左右に細かく水を押し出しながらシワを伸ばします。この時、フィルムは非常にずれやすくなっていますので、ずれないように注意して作業を行ってください。また、押し出した水が垂れてシミになりますので、速やかにタオルで拭き取りながら作業を行ってください。気泡等が残る場合は、針で穴を開けて空気を抜くか、気泡を指で押し出してください。水抜き作業は、1枚貼るごとにしっかりと行ないます。



8 最終チェック

フィルムの隅々まできちんと貼れているか、よく確認してください。わずかも「めくれ」や「気泡」があると仕上がりに影響します。最後にフィルム表面の水分をきれいに拭き取ります。

注意

ご使用前に必ずお読みください。

●施工後、運転操作に支障が出た場合はただちにはがしてください。●ガラスの洗浄後、水抜きが不十分な場合フィルムが変色することがあります。●フィルムのノリが窓に残る場合があります。この場合は市販のノリはがし剤等を使用して拭き取ってください。●不要になったフィルムは各自自治体の区分に従って処分してください。